

# 総合事業で「暮らし」

# を支えます



白川町で稼動する移動金融店舗「めぐライナー」

## 120店舗が生活の窓口 ふれあい委員会で幅広い声

### ライフラインの 機能を担う

J Aには、支店や営農経済センター、農産物直売所の店舗があり、営農と生活の窓口として営業しています。山間地域では、J A店舗しか無い所もあり、ライフラインの機能も担っています。

平成29年度には、移動金融店舗「めぐライナー」を導入し、白川町で稼動を始めた。

J Aは、地域生活に関わる事業を総合的に行うことで、福祉や食農活動、交流など地域を元気にする活動を行っています。

みなさんの利用が、地域貢献活動の支えになっています。

J Aは、総合的に事業を展開するとともに様々な地域貢献活動にも取り組んでいます。

28年度からは、各支店に「ふれあい委員会」を設置し、J A運営に関する意見や地域を元気にするための提案などを聞いています。

### 食農で伝える 農業の大切さ

農業や食への大切さを伝える食農活動に、積極的に取り組んでいます。

地域の営農経済センターや各支店が小学校と連携して、稲作体験や地域の特産農産物の学習などを行うほ



夏休み親子農業体験には毎年、700人を超える親子が参加します

### ふれあいの輪を広げる

か、夏休み期間中には親子を対象にした「夏休み親子農業体験」や、児童を対象にした「わんぱく農業体験」を企画しています。

15年間続く人気企画で、これまでに、約6000人が参加しています。

### 各支店で 行動計画を策定

地域活動では、各支店で地域の状況を踏まえた支店行動計画を作り、農業振興をはじめ、ふれあい感謝デーや軽スポーツ大会の実施、女性部の交流や地域の見守り活動などをすすめています。



小学生対象の「J Aめぐみのカップ少年サッカー大会」④地域交流の「グラウンドゴルフ大会」⑤



全体では、各地域で農業まつりを開いているほか、年配者向けにゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会などを企画。シニア向けにはゴルフ大会。小学生向けには、サッカー大会や野球大会を行うなど、地域内の交流やふれあいの輪を広げています。



各支店で開く「ふれあい感謝デー」(太田支店、12月25日)

## 福祉や食農活動で地域を元気に

### 4つの事業で 地域福祉を支援

J Aでは、地域福祉を担う4つの介護事業を行っています。

居宅介護支援事業は、介護が必要になった方とその家族に、より良い介護サービスを提案します。

通所介護事業は、管内に3カ所のデイサービスセンターを持ち、介護が必要になった方に対して、日常のお世話や楽しみを提供するほか、家族の日常の負担を減らします。

養護施設への食材支援④と特別支援学校での野菜の栽培指導⑤

訪問介護事業は、中濃・郡上地区で取り組み、介護が必要な方の家で日常生活のお世話をします。

福祉用具貸与事

業は、自宅で介護を受ける際に必要な介護ベッドや車椅子などのレンタル事業を行い、多くの利用があります。

### 児童養護施設へ 毎月食材を提供

昨年5月からは、管内にある2カ所の児童養護施設に対して、精肉や新鮮な野菜など、安全でおいしい地域の農産物を、毎月届けています。

中濃特別支援学校との連携もすすめて「一年を通して農に触れてもらおう」と野菜や花の栽培を生徒らに体験してもらっています。

### 大学との連携 若い力を育てる

中部学院大学との包括的連携では、大学ゼミでの共



中部学院大学と共同で、直売所のビジネスモデルを研究しました(グリーンセンター2号館)

同研究や学生の職場体験などをすすめて、若い人材の育成にもつながっています。

女性の社会参画を支援するため、5つの女性部を組織し、約2100人の部員が活躍しています。小学生に対して大豆栽培や豆腐作りを指導する「まめなかな運動」などの食農活動、一鉢運動、農産加工品の開発、趣味の教室など精力的に活動しています。

## 地域にやさしく人にやさしく